

既存会員のための
研修会資料

ロータリアン必携

これだけは知っておきたい

「ロータリーの基礎」

サンプル

改訂 第13版

人と人のつながりが世界を変えていく

情報研究会

CONTENTS

1 ロータリーとは 1	会 員 64
ロータリーの定義 1	職業分類 66
ロータリーの基本理念 4	最近のクラブ運営の柔軟性 67
ロータリーの歴史 7	親 睦 71
	会員増強 73
2 ロータリーの奉仕理念 8	7 ローターアクトクラブ 78
奉仕理念 8	8 公共イメージ 82
奉仕部門確立の歴史 9	9 地区管理 85
3 ロータリー戦略計画 10	地区とは 85
4 ロータリーの新しい方針 14	ガバナー 85
ハラスメント 14	地区リーダーシップ・プラン (DLP) ... 86
ロータリーの多様性、公平性、インクルージョン 16	ガバナー補佐 87
5 奉仕プロジェクト 19	地区委員会 88
奉仕部門の定義 19	諸会合 89
職業奉仕と社会奉仕の基本原則 20	10 国際ロータリー 93
奉仕プロジェクトの実施 26	11 ロータリー財団 95
国際的な各種プログラム 37	ロータリー財団とは 95
青少年関係プログラム 39	地区補助金とグローバル補助金 100
6 クラブ管理 42	大規模プログラム補助金 102
クラブ運営の原則 42	ポリオプラス 102
理事会運営の原則 43	ロータリー平和センター 103
役員・理事とその任務 44	シェアシステム 105
クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) ... 49	ロータリー財団への寄付と認証 106
クラブ委員会 50	ロータリーカード 109
クラブの例会 55	12 ロータリー米山記念奨学会 110
クラブ諸会合 58	ロータリー米山記念奨学事業とは 110
出 席 60	
例会出席の意義 63	

① ロータリーとは

(The Definition Of Rotary)



ロータリーの定義

以前のロータリーとは？

1976年、国際ロータリー理事会はロータリーの基本的な特性に簡明な定義を与えることに関心を持ち、当時のロータリー広報委員の3人にロータリーの定義を一文にまとめて表現する案を作成するように依頼した。多くの原稿が出されたが、この中から下記のような定義が選ばれ、これがそれ以来多くのロータリー刊行物に使用されてきた。

英字で31文字、日本語で101字のこの定義は、「ロータリークラブというのは何ですか？」とたずねられたときに思い出す価値のある言葉とされている。

「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」

サンプル

The 3Cs of Rotary (ロータリーのいろはより)
クリフォードL. ダクワーマン 1992-1993年度国際ロータリー会長

最近のロータリーとは？

ロータリーは、隣人、友人、リーダー、問題解決者のグローバルネットワークであり、人々が団結し、行動を起こして、世界中、地域社会、そして私たち自身に永続的な変化をもたらす世界を見ている。

実際の問題を解決するには、真のコミットメントとビジョンが必要である。110年以上にわたり、ロータリーの行動人は、情熱、エネルギー、知性を駆使して、持続可能なプロジェクトのために行動を起こしてきた。識字能力と平和から水と健康まで、私たちは常に世界をより良くするために取り組んでおり、最後までコミットし続けている。

●ロータリーの構造

ロータリーは、クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3つの部分からなる組織である。

- ロータリークラブとローターアクトクラブは、地域社会や世界に奉仕するために、会員（ロータリアンやローターアクター）が集まって行動する場である。
- 国際ロータリーは、グローバルなプログラムやイニシアチブを通じて、クラブを支援する役割を果たす。
- ロータリー財団は、ロータリーの奉仕活動に資金や教育を提供する組織である。

ロータリー会員は、世界で最も根強い問題に対して行動を起こす責任が共有されていると信じている。私たちのクラブは、次の目的で協力している。

② ロータリーの奉仕理念

(Rotary Ideal Of Service)



奉仕理念

日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏は“*This Rotarian Age*”「ロータリーの理想と友愛」の翻訳に当たって、“*The Ideal of Service*”を「サーヴィスの理想」と訳したが、その後、第2次世界大戦が始まり、英語が使えなくなった折りに「奉仕の理想」になったと言われている。2013年、ロータリーの綱領の全面的な改訳に伴い、“*The Ideal of Service*”の翻訳は「奉仕の理想」から、「奉仕の理念」に変更されることになった。

また、数多いロータリーの公式文書の中で奉仕理念に触れているのは「決議 23-34」のみである。

決議 23-34 には「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我の奉仕」“*Service above self*”の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“*He profits most who serves best*”^{*} という実践的な倫理原則に基づくものである。」と定義されている。

また、昔の公式名簿 (Official Directory) の最終ページに記載されている Brief History of Rotary には、奉仕の理念とし、「他人のことを思い遣り、他者のために尽くす」“*thoughtfulness of and helpfulness to others*”という解釈がつけられている。

1931年5月改訂の「目標設定プラン」の国際ロータリーパンフレット No.3 には「ロータリーでは奉仕の理想（理念）の意味について様々な表現が行われた。「超我の奉仕」、「最も良く奉仕するもの最も多く報いられる」、「他者に対する思いやり」、さらに「自分にして欲しいことを何よりも先ず他者に与える」（一般に黄金律 (Golden Rule) と呼ばれるマタイ福音書 7 章 12 節) と記述されている。

つまり、ロータリーの奉仕理念は、上述の四つ要素が包含されたものと解釈される。

ポール・ハリスはその著書 (*This Rotarian Age*) の中で、ロータリーの「サーヴィス理想（奉仕の理念）」について、『ロータリーの概念するサーヴィス理想（奉仕の理念）とは、物の過程の最初にサーヴィス（奉仕）を置くものである。[中略] そして、最も愚かな方法は金銭に集中することである』と定義し、さらに『有史以来、偉人中の偉人たちが、その言葉や態度で示したものは、「サーヴィス（奉仕）第一、自己第二」“*Service above Self.*” という、まさにロータリーが要約したスローガンを忠実に守ることであった。ロータリーの最終目的が達成不可能だなどと、一体誰が言えようか』^{**} と述べている。

* 採択された審議会決議案 10-165 により、RI の第二のモットー（標語）「*One Profits Most Who Serves Best*」に改定された（邦訳に変更はない）。

** 米山梅吉氏の翻訳原文は下記の通り。

『有史以来、偉人中の偉人等が其言に其行に宣揚して来たるものは、「サーヴィス第一、自己第二」なるスローガンの中に要約され得る教義である。誰か言うロータリーの目的は夢物語に過ぎず』と。

③ ロータリー戦略計画

(Rotary Strategic Plan)

戦略計画とは

ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリーの戦略計画である。(以前は長期計画と翻訳されていた)

この戦略計画は、アンケート調査、フォーカスグループ(座談会調査)、委員会、会合を通じて集められた会員の意見を基に形づくられた。ロータリーがこれからも目標に向けて前進しつづけていくために、戦略計画は、ロータリアンの願いや希望を取り入れながら進化していくものである。

RI 戦略計画の経過

● 2002～03年	理事会はRI戦略計画を提案し、ロータリアンを動員して、全地域のロータリー活動の現状を調査。
● 2004年6月	規定審議会はRI戦略計画委員会の設置を承認。 4年任期の6名の委員で構成。3年毎の見直し。
● 2007年1月	事務総長がRI戦略計画部局を創設。
● 2007年4月	規定審議会は戦略計画の進行状況と現状を確認。
● 2007年6月	理事会はRI戦略計画の使命、ビジョン、モットー、中核となる価値観、そして7つの優先項目を承認。
● 2009年7～8月	3年毎の国際ロータリー活動及び意識調査。
● 2009年11月	RI理事会は調査結果に基づく戦略計画委員会の新戦略計画を承認。
● 2010年7月	2010～2013年戦略計画発効。 [2010～13年戦略計画は、3つの優先項目と中核となる価値観、ビジョン(のちにコアエッセンス)、ミッションからなる戦略計画]
● 2012年	アンケート調査実施。RI戦略計画に対するロータリアンからの強い支持があることを確認。
● 2013年9月	戦略計画の評価、RIと財団とのより良い連携などのために会長はロータリー戦略評価委員会委員を任命。
● 2014年	アンケート実施。RI戦略計画における方向性が適切であることを確認。 2012年と同様、ロータリアンは戦略計画の優先項目とその目標を強く支持。
● 2015年	RIとTRFの緊密な連携を持った合同戦略計画委員会が設置。
● 2016年	規定審議会の決定で、合同戦略計画委員会が発展的に解消され、戦略計画委員会は4年任期の8名の委員となり、委員のうち4名は理事会より任命、残りの4名はロータリー財団管理委員会より任命されることとなった。
● 2017年6月	ロータリーの新ビジョン声明が承認された。
● 2018年6月	2019年7月より5年間の新しい優先項目が承認された。
● 2022年10月	国際ロータリー理事会委員会に合同戦略計画委員会が承認される。

④ ロータリーの新しい方針

(Rotary's New Policy)



ハラスメント (Harassment)

クラブ、地区、ゾーンのリーダーは、会員がそれぞれ異なる信条や価値観をもっていることを尊重しつつ、ロータリーの寛容の原則を適用するために配慮する必要がある。

ロータリー行動グループと親睦活動グループのリーダーも、ロータリーの原則を反映した安全で開放的な環境で会合や行事を行うために適切な判断を働かせる必要がある。

会員は「ロータリアンの行動規範」(本書 P20) に従うことが求められている。

1) 定義

「ハラスメント」とは、個人またはグループを特性（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会・経済的地位、文化、性別、性的指向または性自認）に基づいて、言葉または身体的に、中傷、侮辱する言動、または攻撃的な言動を指すと定義されている。ハラスメントはさまざまな形を取るが、以下はその例である：

- 口頭または文面で侮辱的な言葉を使うこと（Eメールやソーシャルメディアを含む）
- いじめ（上記に挙げた特徴に基づく口頭または身体的な脅しや威嚇を含む）
- ソーシャルメディアやメールで、中傷的なコメント
- 噂話やゴシップ（その人の評判を落としかねない私生活に関する侮辱的なコメントを含む）
- 相手の動きを意図的に妨げること
- ある人の性生活や性的経験について質問したりコメントしたりすること
- 相手の特徴（上記参照）に関する冗談や中傷的な言葉
- 同意のない身体的接触（体に触れること、抱擁、つねることなど）またはそのような接触を与えることの脅し
- ある人の魅力や容姿に関する一方的なコメント
- じろじろ見たり、口笛を吹いたりすること
- 性的な示唆を含む、または侮辱的な、言葉、物、写真、記事、手紙、Eメール、テキスト、ウェブサイトを使用、表示、シェアすること
- 年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、性自認への言及

すべてのリーダーがあらゆるハラスメントの申し立てを深刻に受け止め、適切に対処することが重要である。

2) ハラスメントのない環境をつくる

会合や親睦行事でハラスメントのない環境をつくるには、全会員の協力が必要とされる。ガバナー、ガバナー補佐、各委員長をはじめとする地区リーダーは、クラブと協力しながら、すべての人にとって安全で、礼儀と尊重を重んじる環境を維持しなければならない。ロータリー行動グループと親睦活動グループのリーダーも、同じ基準に従う必要がある。

以下は、クラブと地区のリーダーが取ることのできる、ハラスメントのない環境づくりのステップである。ロータリー行動グループと親睦活動グループのリーダーも、グループの構成や活動について以下のステップを取るべきである。

⑤ 奉仕プロジェクト

(Service Projects)

ロータリークラブのプロジェクトは、世界中の地域社会にインパクトを与えると同時に、会員がつながりを広げ、楽しみながら奉仕する機会となる。クラブの全会員がプロジェクトに関与することで、全員がクラブの成功に寄与できる。

プログラム学友、若いリーダー、友人、家族、地元団体、同僚など、多くの人にプロジェクトに参加してもらうことで、活動がもたらすインパクトが高まるとともに、ロータリーの活動内容を人びとに知ってもらうことができる。これらの人たちが持つ専門知識や経験も、プロジェクトの改善につながるだろう。

ロータリーは、人道的活動、文化交流、教育プログラムなどを幅広く提供しており、以下の五大奉仕部門を通じて、クラブや地区による奉仕目標の達成を支えている。



奉仕部門の定義

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学および実際の規準である。

1. 奉仕の第一部門である**クラブ奉仕**は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である**職業奉仕**は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である**社会奉仕**は、地域社会における積極的平和を目指して努力することによりクラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である**国際奉仕**は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である**青少年奉仕**は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

(標準ロータリークラブ定款第6条)

⑥ クラブ管理

(Administration Of Clubs)



クラブ運営の原則

クラブの運営については、先ずロータリークラブの目的に沿って運営しなければならない。

ロータリークラブの目的 (Purposes of Rotary Club)

ロータリークラブの目的は、

- (a) ロータリーの目的 (Object) の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること。

(標準ロータリークラブ定款第3条)

クラブ運営の基本は、クラブ自治権の行使にある。

ただし、1922年に国際ロータリークラブ連合会がRIに改組されたことを機会に、標準ロータリークラブ定款が作られ、それ以降に設立されたクラブはその標準ロータリークラブ定款を採用することが義務付けられるようになり、各クラブが独自の判断で決められる事項は、クラブ名と区域限界のみとなり、それ以外は標準ロータリークラブ定款の原文そのものを採用しなければならなくなった。

ロータリー運動を思想の原理から見ると、もし、異なった原理を主張するクラブがあれば、そのクラブをロータリークラブと呼ぶことは矛盾を生じる。従って、その原則を崩せば最早ロータリークラブではなくなる必要条件を標準化したものが定款である。また、ロータリーを運動体の側面から見ると、世界中に存在する約37,000のクラブがばらばらの組織管理をすることにも問題がある。そこで、これらを標準化するものとして定款が必要になってくる。

定款に違反しない限り、また、定款に記載されていない事項については、全てクラブの自主的な判断に任されており、その規約をまとめたものがクラブ細則である。

クラブ細則は、それぞれのクラブの実情に合わせて定められるべきである。50名のクラブ、100名のクラブ、それぞれのクラブの実情に合せた細則を定め、更に毎年それを見直しながら、細則に基づいたクラブの運営がされなければならない。



7 ローターアクトクラブ

(Rotaract Clubs)

ローターアクトクラブは地域社会や国際的活動を通じて行動し、リーダーシップスキルを学び、専門職向上に参加する若い大人の組織である。2020年7月1日よりローターアクトクラブは、ロータリーのプログラムからRIを構成するクラブになった。

1. ローターアクトクラブの変化に関する経過

- 2014年10月 理事会はローターアクトのRI人頭分担金を支払うことを規定する件を2016年規定審議会提案として決定。その後、2015年1月理事会で取下げ。
- 2015年 1月 理事会は、ローターアクトクラブと言う若者のためのクラブを設立し、人頭分担金を課す件を2016年規定審議会提案として一時承認後、再度取下げ。
- 2016年 4月 2016年規定審議会がローターアクトが正会員となることを認めることを採択。(2重会員が認められる)
- 2018年 1月 理事会はPETSや地区研修会議にアクトクラブの代表者を派遣することを推奨し、その費用をロータリークラブや地区が支援すること奨励。
- 2018年 4月 2019年国際協議会にアクト代表を公式に招待すること(60名)を決定。
- 2018年10月 理事会は、地域ローター(Arc, ARRF)に見直し・元アクトの任命を推奨。さらに、財団補助金をアクトクラブが申請でき、またアクト会員の財団への寄付の新たな認証制度設けることをTRFに要請。
- 2019年 4月
- 2019年規定審議会(修正動議)で、ローターアクトクラブのRI加盟が承認。
 - 理事会は、ローターアクトクラブが新たにインターアクトクラブをスポンサー(提唱)できること、大学を基盤としたローターアクトクラブと地域社会を基盤としたローターアクトクラブを独自の参加戦略を持った別のロータリープログラムとして分離すること、さらにローターアクトの年齢幅を削除することなどを検討することを決定。
 - 管理委員会はローターアクトの寄付認証を承認。
少なくとも5名のローターアクトクラブ会員が50米ドル以上を寄付する場合、財団から特別な感謝状がクラブに贈られる。
- 2019年 7月 理事会はローターアクト地位向上タスクフォースを設置し、下記を検討。
- ローターアクトの人頭分担金の検討(金額と時期)
 - 財団プログラムへのローターアクトの参加
 - コミュニケーションと変更管理計画
 - ロータリー章典41.040.節(また関連する節)の見直し
 - ローターアクトの状況変化でもたらされるその他すべてテーマ
- 2019年10月 ローターアクト定款の変更。— 2020年7月より有効 — (年齢制限廃止など)
- 提唱クラブなしのローターアクトクラブ結成を可能にする。
 - ローターアクトクラブを提唱クラブとするローターアクトクラブの結成を可能にする。

⑧ 公共イメージ



(Public Image)

クラブの広報 (Club Public Relations)

クラブは、建設的な公共メディア機関および報道機関との関係を維持するものと期待されている。クラブは、一般の人々を招いての会合を開くよう奨励されるべきである。

広報は、いくつかの異なった聴衆に向けて行われるべきである。これらはすなわち、報道機関（メディア）、地方の政府や自治体役員、事業界、市民リーダーや市民団体、および資格のある会員候補者ならびにロータリー奉仕プロジェクトの影響を直接に受ける人々である。

(ロータリー章典 9.050.)

ロータリーの推進におけるロータリアンの責任

(Rotarians' Responsibility in Promotion of Rotary)

個々のロータリアンは、ロータリー発展と奉仕活動を改善、拡張するために、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているのかについて、自ら他の人々に知らせ、地域社会におけるロータリークラブの存在感を一層際立たせる力となるよう要請されている。

(ロータリー章典 9.050.1.)

クラブプロジェクトおよび活動の広報 (Publicity for Club Projects and Activities)

クラブは、ロータリーの意図と業績を明らかに示すような、成功を収めた奉仕プロジェクトや活動を広報するよう努めるものと期待されている。過去の経験から、以下のようなロータリーの話題が広報において最も効果的であることが示されている。

- 1) 卓越したボランティア
- 2) 先進国と開発途上国の人々の交流
- 3) 地元で実施されているロータリーもしくはロータリー財団プロジェクト
- 4) 青少年交換学生、国際親善奨学生、あるいは VTT 参加者など、ロータリーの交換プログラムの参加者
- 5) ロータリーの奉仕から恩恵を受けている人々に関する人道的な話題
- 6) ポリオプラス活動、特にポリオ感染地域における活動

(ロータリー章典 9.050.2.)

メディア機関とのクラブの関係 (Club Relations with Media)

クラブは、地元のメディア機関に話題を提供することによって、一般の人々に広報すべきである。これは、対象とするメディア機関を特定し、メディア機関のリストを作成し、適切なメディア機関にニュース記事案（プレスリリース）を提供することで実行することができる。

その他に、クラブの活動には、報道機関の関係者にメディアの役割についてクラブで話をしてもらう活動も含めるべきである。

(ロータリー章典 9.050.3.)

サンプル

⑨ 地区管理

(Administration Of Districts)



地区とは



地区とは、理事会によって設けられた地理的な境界内にあるクラブの集まりである。地区の目的は、ロータリークラブを強化し支援することである。地区が特定の奉仕プロジェクトやプログラムを完遂することは必須とされてはいない。

(ロータリー章典 17.010.1.)



ガバナー (Governor)

ガバナーノミニーマニ資格条件

理事会によって許可されない限り、ガバナーノミニーマニに選ばれる人物は、選出の時点で、

- (a) 地区内の機能しているクラブの瑕疵なき会員であるものとする。
- (b) クラブ会長を全期務めた経験があること、または最低1カ月間クラブの創立会長を務めた経験があるものとする。
- (c) 第 16.030. 節のガバナーの任務と責任を果たす意思があり、これを実行することができる者であるものとする。
- (d) 細則に定められているガバナーの資格条件、任務、および責任を熟知しているものとする。
- (e) このロータリアンが、ガバナーの資格条件、任務、責任を理解し、ガバナーとしての資格条件を備えており、これらの任務と責任を引き受け、これを忠実に果たす意思を持ち、それができる状態にあることが明記された声明書を RI に提出するものとする。(RI 細則 16.010.)

ガバナーの資格条件

理事会によって許可されない限り、ガバナーは、就任時に、国際協議会に全期間を通して出席しており、少なくとも7年以上ロータリアンであり、RI 細則 16.010. の資格条件を引き続き保持していなければならない。

(RI 細則 16.020.)

ガバナーの任務

ガバナーは、その地区において、理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行う RI の役員である。ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与えるものとする。ガバナーは、元、現任、次期地区リーダーと協力して、地区内における継続性を確保するものとする。ガバナーは、次の事項の責任を負う。

- (a) 新クラブを結成すること。
- (b) 既存クラブを強化助成すること。
- (c) 会員増強を推進すること。
- (d) 地区およびクラブのリーダーと協力し、理事会の提唱する地区リーダーシップ・プラン (DLP) への参加を奨励すること。

10 国際ロータリー

(Rotary International)

国際ロータリー (Rotary International) とは

国際ロータリー (RI) は全世界のロータリークラブおよびローターアクトクラブの連合体である。
(RI 定款第 2 条)

RI の会員は、ロータリークラブおよびローターアクトクラブをもって構成される。

(RI 定款第 4 条第 1 節)

ロータリーという言葉をもとに使う場合、通常、国際ロータリーとしての組織全体を指す。ロータリアンはそれぞれのクラブの会員であり、また、ローターアクターはそれぞれのローターアクトクラブ会員である。ロータリークラブおよびローターアクトクラブは国際ロータリーの会員である。

国際ロータリーの目的 (Purposes of Rotary International)

- a) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追求しているクラブ、ローターアクトクラブ、地区を支援すること。
- b) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること。
(RI 定款第 2 条)

国際ロータリーの使命 (Mission of Rotary International)

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである。

(2022 年手続要覧「ロータリーの基本理念」(ロータリー章典 26.010.1.)

ロータリーのプログラム

現在、ロータリープログラムは RI 理事会がクラブと地区のために認定している組織的な活動である。プログラム参加者とは、以下を含む RI およびロータリー財団のプログラムに現在参加している人と定義されている。

プログラム	プログラム参加者
<ul style="list-style-type: none">・ インターアクト・ 新世代交換・ ロータリー地域社会共同隊 (RCC)・ ロータリー友情交換・ ロータリー青少年交換・ ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)・ ロータリー行動グループ・ ロータリー親睦活動	<ul style="list-style-type: none">・ インターアクト・ ロータリー行動グループ・ ロータリー地域社会共同隊 (RCC)・ ロータリー親睦活動・ ロータリー友情交換・ ロータリー青少年交換・ ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)・ ロータリー平和フェロシップ・ グローバル補助金奨学金・ 職業研修チーム (メンバーとリーダー) (VTT)・ 地区補助金による奨学金・ 新世代交換

(2023 年 5 月理事会会合、決定 138 号) (ロータリー章典 40.010.1. ~ 2.)

11 ロータリー財団



(The Rotary Foundation : TRF)



ロータリー財団とは

国際ロータリーのロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられた。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となった。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的かつ教育的目的、または1954年国内歳入法第501項(c)(3)もしくは以後の連邦租税法の関連規定に定められ、かつ、法人会員の承認したほかの目的と目標のためにより組織され、常に運営されるものとする。この目的の中には博愛、慈善、教育という特質をもつ、あるいは善意に基づく実質的かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民の間に理解と友好関係を助長することが含まれるが、これらに限定されるものではない。

(1983年財団法人設立定款の目的より)

財団の定義 (Definition of The Rotary Foundation)

ロータリー財団は、ロータリークラブおよび地区を通じて実施される、承認された人道的および教育的活動を支援のために寄付を受け、資金を分配する非営利団体である。

(2011年9月管理委員会会合、決定8号、ロータリー財団章典 10.010.)

財団の使命 (The Rotary Foundation Mission Statement)

ロータリー財団は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

(2022年1月管理委員会会合、決定41号)(手続要覧 2022年、ロータリー財団章典 10.020.)

ロータリー財団のビジョン声明 (The Rotary Foundation Vision Statement)

管理委員会は以下のビジョンステートメントを採択した。

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指している。

(2017年9月管理委員会会合、決定12号)(ロータリー財団章典 10.030.)

管理委員会の任命と組織

管理委員の数は15名とし、管理委員は、RI理事会の同意を得たうえでRI会長が任命する。管理委員のうち4名は元RI会長とする。

管理委員の任期は4年とし、任期満了後再任命されることができる。ただし、管理委員の資格条件を満たしていなければならない。死亡、辞任、解任、資格欠如を除き、各管理委員は、自分

12 ロータリー米山記念奨学会

(Rotary Yoneyama Memorial Foundation)



ロータリー米山記念奨学事業とは

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業である。将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命である。

その歴史は約70年前にさかのぼる。平和を愛し、青少年に手をさしのべた“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念する事業として、1952年、東京ロータリークラブは、海外からの留学生を支援する国際奨学事業を始めた。やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省（現・文部科学省）を主務官庁とするロータリー米山記念奨学会が設立された。世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっている。

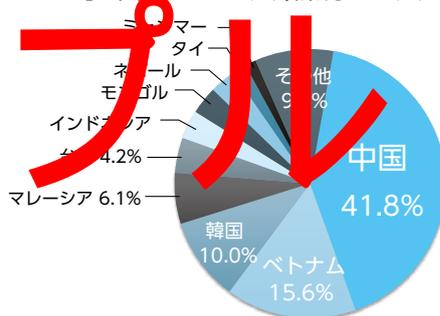
米山記念奨学会の特色

一番の特徴は、その規模である。米山奨学生の採用数は、2022学年度年は898人。総事業費は14億5千万円（2021-22年度決算）であった。世界規模で展開しているロータリー財団国際親善奨学生の年間採用数とはほぼ同じである。これだけの外国人留学生を支援している奨学団体は、事業規模・採用数とも日本国内では民間最大である。

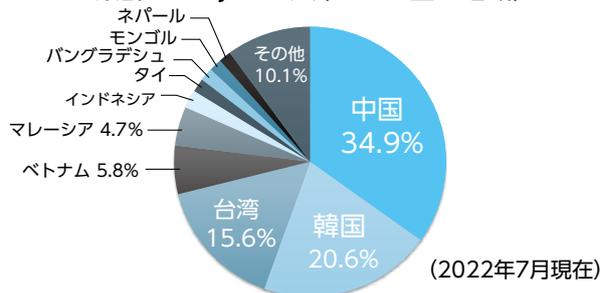
これまでに支援した奨学生数は累計で22,875人（2022年7月現在）、その出身国は、世界129の国と地域に及ぶ。米山学友（元米山奨学生）は、韓国駐日大使やスリランカ警察庁長官、韓国・台湾のガバナーに就任した人など、世界中で活躍している。

国内最大級の奨学生数

2022学年度 **898人** (新規619人/継続279人)



累計 **22,875人** (129の国と地域)



世話クラブ・カウンセラー制度

米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援がある。



世話クラブとは？

日本には約2,200のロータリークラブがある。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となる。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的

サンプル

これだけは知っておきたい
「ロータリーの基礎」

2023年（令和5年）10月発行
改訂第13版

発行・編集 情報研究会
案内・申込書 <https://www.rotaryinformationgroup.jp>
お問合せ/Eメール：info@rotaryinformationgroup.jp

※ 2022年規定審議会結果含む